

住吉教会堅信式

教会の一員としてできること

2021年12月12日(日)9時半、住吉教会で5人の若い受堅者が堅信の秘跡を受けた。主司式は前田万葉大司教。共同司式は赤波江豊神父、パオロ・スツク神父、金台根神父がつとめた。

主催者の感想

2020年に予定されていた神戸地区東ブロックの合同堅信式はコロナ禍で中止となり、一年越しの堅信式となった。住吉教会で育った子どもたちの堅信式を見守ろうと、当日は110人ほどの信徒が出席した。

前田万葉大司教は、ミサ説教の中で「受堅者は聖霊を受けることによりキリストの似姿、あかし人となります。大人の信者として自分自身で信仰宣言をし、互いを大切にして共同体の一員として何ができるかを考えていきましょう」と述べ、受堅者たちのこれからに期待を寄せた。

受堅者にとって待ちに待った堅信式であり、待たされた時間の分、さらに大きな喜びの日となったと思います。無事に終えることができました。神様に感謝するばかりです。

ブロック制になってからは小教区単独で堅信式を行うことがなく、久しぶりに所属教会の聖堂で堅信の秘跡に信徒一同が参加して、受堅者・ご家族と喜びを分かち合えたことは良かったと思います。

今回の堅信式で再確認できたことがあります。コロナ禍の困難な状況にあっても神様に信頼して準備をすれば、神様は必ず応えてくださるということです。このこと。「堅信の秘跡を通して大人の信者になる」のだということ(前田大司教様の言葉より)。カトリック信徒の家庭において、信仰は親から子へ、そして孫へと受け継がれていくということ(受堅者とそのご家族を見て思いました)——これらのことを大切にしたいと思います。

受堅者の声

「私は堅信を受けて、今までよりも信仰を深めることができ、教会のために自分ができることは何かを考えて行動していこうと思いました」。(中学2年生)



「父のたまものである聖霊のしるしを受けなさい」
——堅信式の式文より



新型コロナウイルスの影響は思わぬところに及んでいることが分かった。

日本に帰ってこられた、ある神父さん。入国時のPCR検査のためにホテルで6日間滞在を余儀なくされた。部屋のドアにはブザーが取り付けられており、部屋を出ようとすると鳴るので、一步も外に出ることはできない。食事は弁当が決まった時間に届く。待機期間中は、シーツはおろかタオルさえ交換してもらえなかったと話した。「まさに監獄でした」と振り返る。

外国人司祭の中には、母国での休暇を断念するか、待機のために期間を短くした例があった。ベトナムで学ぶ二人の大阪教区神学生は、普段なら夏休みなどの長期休暇に日本に来て教会で実習することになっているが、二年間できていないという。

修道会では、日本に派遣する予定の司祭や神学生を出国させることができずにいるところもある。日本語の勉強はネットを使ってやっているとのこと。一日も早く来日して、日本語を習得して司牧活動に加わりたいのだが、コロナ禍のためにままならず、もどかしい思いをしていると聞く。

このように、コロナ禍は思いがけない形で教会活動に影響を与えているようだ。

(広報委員会委員長 川邨裕明)

住之江教会 献堂

—60周年記念のお祝い—



献堂以来、関わってこられたすべての方々に感謝！

2022年1月9日、主の洗礼の日、住之江教会のこれまでの歩みに感謝をこめて、ミサとささやかな祝賀会が行われた。

50周年のお祝いを諸般の事情で実施できなかったため、今回の開催については歴代評議会メンバーによる実行委員会という形で検討を重ねてきた。コロナ禍であることから、記念ミサ

を重視し、セレモニーは控えめに短時間で実施することになった。そのため飲食やパーティーは行わず、大司教様のメッセージと初代主任司祭である淳心会のポール・スクルス神父様が

らの書面での祝辞のみを頂戴した。住之江教会は1961年(昭和36年)12月25日、ベルギーの皆さんのご支援により淳心会当時は「スクルト会」によって献堂された。2016年に聖堂は改修となり、信徒会館は既設は取り壊され、新設された。教会の守護の聖人は、聖パウロ。1979年に大阪教区に移管され、現在の信徒数は300人程度の小規模な教会だが、最近では外国籍の方々が徐々に増えている。

参加者感想

主は、住之江の地で福音宣教に励むようにと住之江教会をつくられました。これまで頂いた多くの恵みに感謝し、聖パウロのご加護のもと、これからの50年、100年に向けて地域と共にある教会、共に責任を担い合う教会を目指して前進して参りたいと思います。

すべてのいのちをまもるための
特別月間【9月1日▶10月3日】

特定献金
感謝とご報告

2022年2月1日
災害対策委員会

昨年、皆様からいただきました寄付金は519万9841円でした。この中から、以下3つの団体および個人にそれぞれ20万円寄付することとしました。また今後、状況に応じて諸団体等に拠出したと思います。皆様、ありがとうございました。

- こうのとりのゆりかご in 関西
- 核なき世界基金
- アフガニスタンで難民となっている人びと(在日アフガニスタン人3家族の親戚)の救出のため

